

# DEIをめぐる賛否の先へ—なぜ今、企業にDEIが求められるのか

8月4日 火 15:00~16:30

近年、米国ではDEIをめぐる議論が活発化し、企業や大学が施策の見直しを迫られる場面も見られます。

このような時、経営者は何を拠り所に判断するのでしょうか。利益、法令、顧客ニーズ、社会的価値——。

DEIをめぐる議論は、実は経営の根本にある価値観や規範を問い直すものでもあります。

本講演では、女性活躍推進や多様性尊重の考え方がどのような歴史的背景のもとで生まれ、企業に求められるようになったのかを振り返ります。そのうえで、企業はなぜDEIに取り組むのか、企業と社会はどのような関係にあるのかを考察しながら、これからの時代に求められる経営のあり方について参加者の皆さまとともに考えます。

■登壇者：今井 章子(いまい・あきこ)

昭和女子大学グローバルビジネス学部長・教授

ハーバード大学ケネディスクール修了(フルブライト奨学生)。  
企業と社会の関係を主な研究テーマとし、CSR、ESG、ビジネスと人権、ジェンダー平等、サステナビリティなどについて研究している。  
政策シンクタンクの常務理事、英文外交誌の編集担当取締役等を歴任。企業を取り巻く社会規範や価値観の変化に関心を持ち、企業と社会の望ましい関係について研究・発信を続けている。  
ロバート・ライシュ『最後の資本主義』『暴走する資本主義』など翻訳書多数。

■お申込期限：7月30日 木 定員：先着100名

■お申込方法：

下記のサイトまたは右記のQRコードから、お申込期限までにお申し込みください。

<https://forms.gle/APkh9iDc78poXuy56>



※取材を希望される方は、予めお知らせください。